

2026 年 7 月 21 日

活動レポート No.10

ひとり親家庭の親子を対象とした山梨 1 泊 2 日宿泊体験を実施しました

～自然・食・仲間との出会いを通して、「体験格差」の解消へ～



一般財団法人川野トモこども支援財団では、埼玉県内の生活にお困りのひとり親家庭の親子を対象に、「体験の機会の場の提供」を目的とした体験支援事業を実施しています。

子どもたちを取り巻く環境によって、学校外での体験機会には大きな差が生じています。経済的な事情や家庭環境により、旅行や自然体験、文化体験などに参加する機会が限られている子どもたちも少なくありません。

財団では、このような「体験格差」の解消を目指し、子どもたちが日常では経験できない体験を通して、自信や可能性を感じ、生きていくうえで大切な主体性や協調性、挑戦する心を育む機会を提供しています。

このたび、7月18日(土)・19日(日)の2日間、山梨県で親子宿泊体験を実施しました。



盛りだくさんの体験プログラム

今回の宿泊体験では、自然や地域文化に触れながら、親子で楽しみ、学べるプログラムを実施しました。

- 富士山麓の樹海トレイル
- 鳴沢氷穴・富岳風穴の見学
- 星空観察
- キャンプファイヤー
- ぶどう狩り
- 親子で協力して取り組むカレー作り
- 山梨名物「ほうとう」作り

初めて会った子どもたちは、すぐに打ち解け、一緒に料理をしたり、自然の中を歩いたりしながら、笑顔いっぱいの2日間を過ごしました。

また、保護者同士も交流を深め、子育てや日頃の悩みを共有するなど、親子だけでなく保護者にとっても有意義な時間となりました。

子どもたちの成長が感じられた2日間

宿泊体験では、子どもたちのさまざまな成長が見られました。

初めて会う友達と協力して料理に挑戦したり、年下の子どもを自然に気遣ったり、樹海トレイルを最後まで自分の力で歩き切ったりする姿は、多くの保護者に感動を与えました。

子どもアンケートでは、

- 「お友達ができた」
- 「新しいことができた」
- 「もっとチャレンジしたくなった」
- 「また絶対参加したい」

という前向きな声が多く寄せられ、約 9 割の子どもたちが「とても楽しかった」と回答しました。



保護者から寄せられた喜びの声

保護者アンケートでは、ほぼ全員が「とても満足」「満足」と回答しました。

特に多かったのは、

- 子どもの成長を実感できた
- 親子の会話や笑顔が増えた
- 子どもを信じて見守ることの大切さに気付いた
- 同じ境遇の保護者と交流し、前向きな気持ちになれた

といった感想です。

中には、

「社会に頼れる場所があることを知り、子育てを頑張ろうと思った。」

「生きていて良かったと思った。」

という声も寄せられ、今回の体験が親子双方にとって大きな支えとなったことがうかがえました。

体験が子どもたちの未来につながるように

体験は、楽しい思い出をつくるだけではありません。

新しいことへの挑戦や仲間との出会い、親子で同じ時間を過ごすことは、子どもたちの自己肯定感や主体性、協調性を育み、将来につながる大切な経験になります。

今回の宿泊体験を通じて、子どもたちの笑顔や成長、そして保護者の安心した表情を見ることができ、改めて体験支援の重要性を実感しました。

一般財団法人川野トモこども支援財団では、これからもひとり親家庭の親子に寄り添い、「体験格差」の解消を目指して、子どもたちがワクワクしながら学び、挑戦できる体験の機会を提供してまいります。
